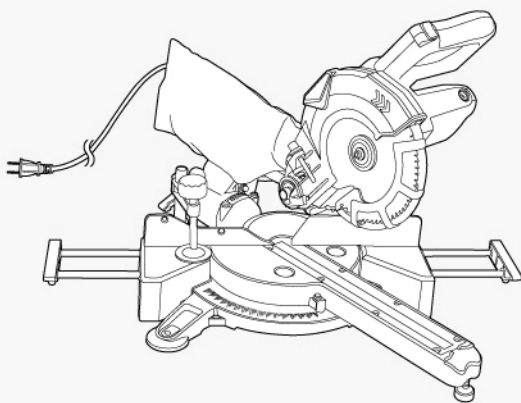


EARTH MAN.

アースマンシリーズ

スライド丸鋸 190mm SM-190A



回 二重絶縁

電気回路と使用者間を二重に絶縁した構造のこと。

お客様へ

●本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」を必ずお読みになり、内容をご確認・ご了承ください。

また、取扱説明書の内容を十分理解したうえで使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に	1
安全にお使いいただくために	
電動工具を安全にお使いいただくために	
本製品を安全にお使いいただくために	
本製品について	8
本体各部の名称	
付属品・用途・仕様	
使用前の準備	10
作業を行う前の確認	
付属品の取り付け	
使い方	12
各部の調整	
のこ刃の取り付け・取り外し	
切断方法	
お手入れ	26
各部の点検・調整	
カーボンブラシについて	
お手入れと保管	
お買い上げの後に	34
交換用のこ刃について	
保証書	

お使いになる前に

安全にお使いいただくために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険がおよぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』・『注意』・『注』の

3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が傷害を負う可能性および物的損害の発生が想定される内容
 注	本製品や付属品の取り扱いなどに関する重要な注意事項

電動工具を安全にお使いいただくために

※本項目は共通項目ですので、製品により内容が一致しない場合があります。

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。
 - 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 作業場は十分明るくしてください。
 - ガソリン・シンナー・塗料・接着剤など引火性の液体や可燃性の物、ガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
 - 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)
3. 作業員以外を近づけないでください。
 - 特にお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
4. 作業に適した服装で作業してください。
 - 作業をするときは保護メガネを着用してください。
 - 作業に適した服装(すそじまりの良い長袖・長ズボン)で作業してください。だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。

- 軍手など巻き込まれる恐れのある素材の手袋は着用しないでください。
- 長い髪は帽子などで覆ってください。
- 粉じんなどが多く発生する作業では保護マスクを着用してください。
- 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)など防音保護具を着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 商品開封後は梱包内容を確認し、輸送による破損・ゆりみ・ひび割れなど本製品や付属品に異常がないことを確認してください。
- 作業前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがいないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外の物は使用しないでください。

また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されていることを確認してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合わせて作業してください。
- 足元の不安定な場所や無理な姿勢で使用しないでください。

10. 感電に注意してください。

- 濡れた手での取り扱いや電源プラグの抜き差しはしないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されている物(エアコンの室外機や金属製の支柱など)に接触させないでください。(感電の原因)

11. 通気孔をふさがないでください。

- 本製品の通気孔は本体を冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災・故障の原因)

お使いになる前に(続き)

12. 使用電源は必ず家庭用 AC100V電源を使用してください。

- 200V用電源に接続して使用しないでください。(火災・故障の原因)
- 発電機やインバータ電源・DC電源・仮設電源での使用はしないでください。
(火災・故障の原因)

13. コードなどの取り扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを高熱の物・油や角のとがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- コンセントから電源プラグを抜き差しするときは、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(火災・故障の原因)
- 作業者以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器の設置をお勧めします。

14. 不意な始動はさけてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 本製品を移動する場合や付属品を交換するときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 使用しない場合・作動すると危険な場合・停電のときは電源プラグをコンセントから抜いてください。

15. 加工物はしっかりと固定してください。

- 加工物・対象物は必要に応じてクランプや万力などで固定してください。

16. 本体作動部には触れないでください。

- 作動中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因)

17. 作動している状態のまま放置しないでください。

18. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

- 高所作業のときにコードを引っ掛けたりした場合、事故・ケガの原因となります。

19. 油断せず、十分注意して使用してください。

- 本製品を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況などに十分注意して慎重に使用してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。
- 長時間の連続作業は疲労による事故の原因となります。

20.ヤケドに注意してください。

- 使用直後は、本体（モーター）や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

21.定期的に点検してください。

- 電源プラグ・通気孔にほこりや粉じんなどが付着している場合には、よく取り除いてください。（火災・故障の原因）

22. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光のあたらない・風通しの良い・乾燥した場所で、お客様の手の届かない安全な所や、カギのかかる所にきちんと保管してください。

23. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。

24.ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて本製品の使用を中止し、お買い上げの販売店にお申しつけください。または（株）高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。
また、本製品を貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

注意

1. 延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、定格電流が15A以上の物を使用してください。(最大20mまで)
- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。
- 使用する延長コードの取扱説明書・注意事項などをよく読み正しく使用してください。

2. 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続使用はしないでください。(故障・破損の原因)

3. 騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5. こまめにお手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常にお手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合はお買い上げの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリースが付着した場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

6. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光のあたる場所・高温になる場所には、放置・保管しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。

本製品を安全にお使いいただくために

警告

1. のこ刃は必ず指定のものを使用してください。
 - 本製品に表示してある のこ刃寸法に適合した物を使用してください。
 - のこ刃は外径185～190mm、内径20mm以外の物は使用しないでください。
2. 用途に合った使い方をしてください。
 - 本製品は木材の加工に使用する電動工具です。用途以外(金属の切断など)には使用しないでください。
3. のこ刃にひび割れ・刃欠け・ゆがみなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - のこ刃に異常のあるものや切れ味の悪くなったものは使用しないでください。
4. 使用中は回転しているのこ刃に顔や身体を近づけないでください。
5. のこ刃や付属品は、この取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - のこ刃や付属品が確実に取り付けいていないとケガ・事故の原因となります。
6. 使用中は、軍手など巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。
 - 回転部に巻き込まれケガの原因となります。
7. たてバイスで固定できない小さな物は切断しないでください。
 - 加工物はバイスで確実に固定してください。
8. 加工物を小さく切り落とさないでください。
 - 加工物の切り落とし側が小さい場合、のこ刃の回転に巻き込まれ飛散することがあります。(ケガ・破損の原因)
9. 使用前には必ず人のいない方向に向け、無負荷で1分以上の試運転を行ってください。
 - 本製品の異常振動やのこ刃のブレなどの不具合がないことを確認してください。
 - 異常がある場合は使用を中止してください。
10. 安全カバーがスムーズに動くことを確認してください。
 - 安全カバーを任意の位置で固定しての使用は絶対にしないでください。
 - のこ刃が露出したままでの使用は大変危険です。(ケガ・事故の原因)
11. 使用中は機体を確実に保持してください。
 - 確実に保持していないと本体がぶれ、ケガ・事故の原因となります。
12. 切断しようとする加工物の前方に手を置いたり、電源コードを加工物の上にのせたまま作業しないでください。(ケガ・感電の原因)
13. 切断途中でのこ刃を回転させたままハンドルを戻そうとすると、強い反発力が生じ、ケガの原因となります。

お使いになる前に(続き)

- 切断途中でハンドルを戻すときは、スイッチを切り、のこ刃の回転が完全に止まってからハンドルを戻してください。

14. のこ刃の交換のときは、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

15. 作業直後は加工物やのこ刃が大変熱くなっています。

- 冷えるまで直接手肌に触れないでください。特にのこ刃の交換は切断直後から5分間は行わないでください。(ヤケドの原因)

注意

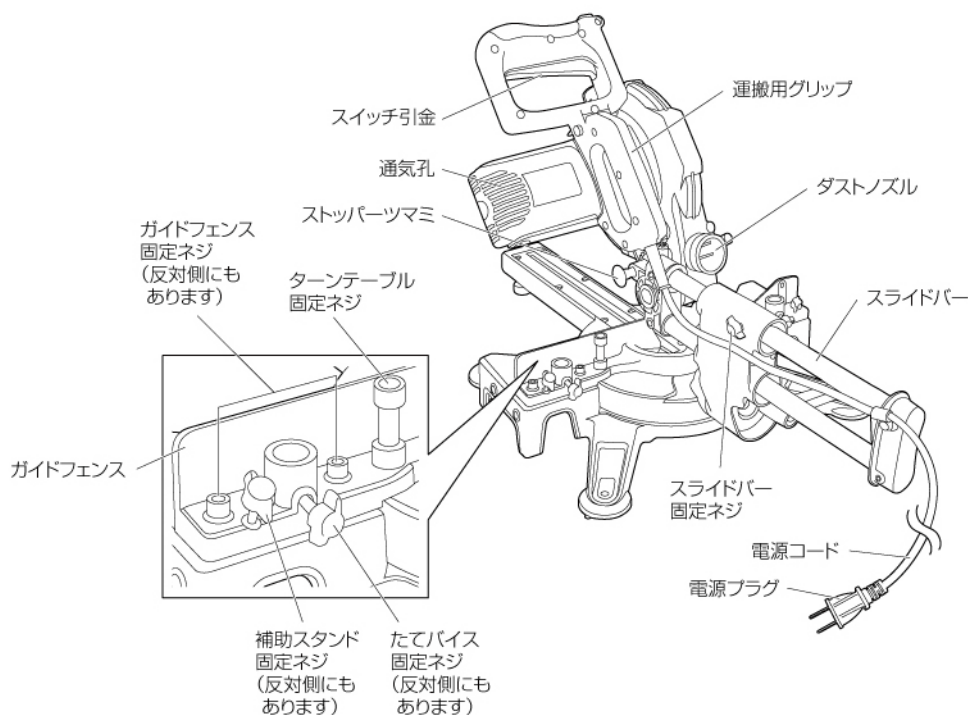
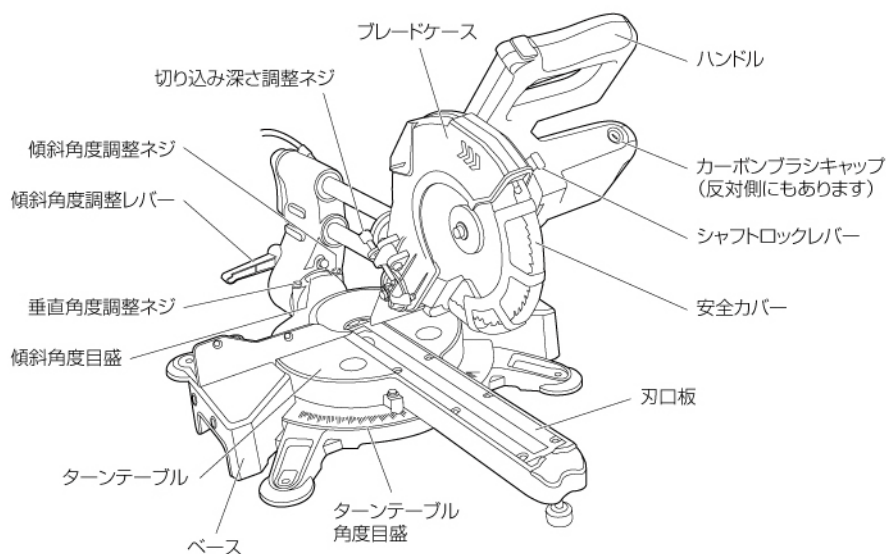
1. 建築作業など精度が必要な切断には使用しないでください。
2. 切断能力を超える厚さ・幅の加工物を切断しないでください。本体破損・故障の原因となります。
3. 必ず安定した場所で作業してください。
 - 傾斜のない平坦な場所で作業してください。不安定な場所で作業をするとケガ・事故の原因となります。
4. 加工物の切り落とし側が大きいときは、切り落とし側にも安定性のよい台を設けてください。
 - このような台がないと、のこ刃が加工物にはさまれ反発力を生じ、ケガ・故障の原因となります。
5. 切断砥石を取り付けて使用しないでください。
6. 加工物の中に釘などの異物がないことを確認してください。
 - のこ刃の刃こぼれや、反発によるケガの原因となります。
7. 切断する加工物の下に障害物がないことを確認してください。強い反発力を生じケガの原因となります。
8. 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。長時間の連続使用はしないでください。過負荷状態の連続使用は故障の原因になります。
9. 常温(0~40℃)で使用してください。

注

1. 定期的に清掃してください。
 - 安全カバー内・フランジ・回転軸に切りクズ・砂・研削粉などのゴミが入らないように注意してください。ゴミが入った場合は、取り除いたうえで乾いた布で拭いてください。
 - 電源プラグにほこりや粉塵などが付着している場合にはよく取り除いてください。
 - モーターの特性上、使用中に通気孔内部から火花が見えることがありますが故障ではありません。

本製品について

本体各部の名称



お
使
い
に
な
る
前
に

本
製
品
に
つ
い
て

本製品について(続き)

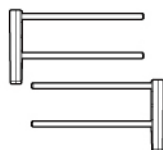
付属品

付属のご刃の仕様

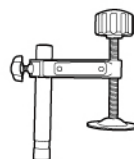
外径190mm×刃厚2.0mm×内径20mm×刃数72P



木工用のご刃
(本体にセットされています)



補助スタンド



たてバイス



ダストバッグ



六角棒レンチ
(3/5/8mm)



交換用カーボンブラシ

用途

◆一般木材・合板の切断に

◆各種角度切りに

仕様

電 圧	AC 100V			
周 波 数	50/60Hz			
電 流	12A			
消費電力	1,100W			
回 転 数	約5,300min ⁻¹			
使用可能 のこ刃寸法	外径185~190mm 内径20mm（本製品は20mm専用機です）			
切断能力 高さ×幅 (外径190mmののこ刃使用時)			のこ刃傾斜0°(直角)	のこ刃傾斜左45°
	ター ン テ ー ブ ル の 回 転	0°(直角)	約50×305mm	約30×305mm
		左45°	約50×210mm	約30×210mm
		右45°	約50×210mm	約30×210mm
ターンテーブル回転範囲	左右0～45°			
のこ刃傾斜角度範囲	0(垂直)～左45°			
質 量	約9.0kg（付属品は除く）			
本体サイズ	約 長さ610×幅410×高さ450mm			
コード長	約2.0m			
定格時間	30分			

使用前の準備

作業を行う前の確認

1. 使用電源を確認してください。

- 必ず本製品に表示されている電圧で使用してください。

警告

- 家庭用電源以外では使用しないでください。

2. スイッチが切れていることを確認してください。

警告

- 不意に始動すると危険な場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

3. のこ刃を確認してください。

- のこ刃にひび割れ・刃欠け・ゆがみなどの異常がないことを確認してください。
- のこ刃の回転方向矢印がブレードケースの回転方向矢印と一致していることを確認してください。

警告

- のこ刃に異常のあるものや切れ味の悪くなったものは使用しないでください。
- 回転方向が合っていないと、のこ刃の刃先をいためるばかりでなくケガの原因となります。

4. 調整や取り付けに使用した工具類が取り外されていることを確認してください。

警告

- 工具が取り外されていないと、故障や思わぬ事故の原因となります。

5. 作業前には必ず人のいない方向に向け、無負荷で1分以上の試運転を行ってください。

警告

- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチを入れるときは、のこ刃が安全カバーや加工物などに接触していないことを確認してください。
- のこ刃を交換し、初めてスイッチを入れるときは、周囲に人がいないことを確認し無負荷で3分以上の試運転を行ってください。

使用前の準備(続き)

付属品の取り付け

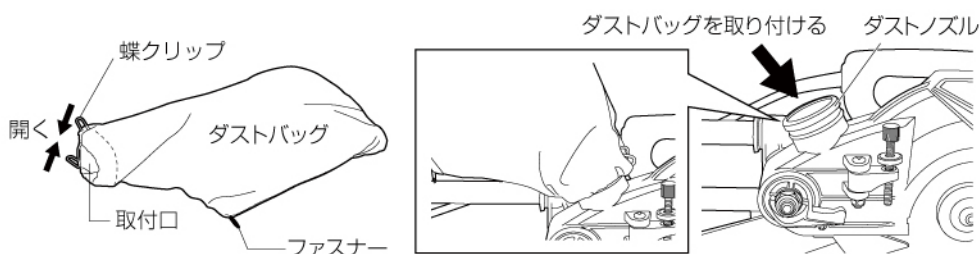
ダストバッグの取り付け

1. ダストバッグの蝶クリップをつまんで広げ、ダストバッグの取付口を開きます。
2. 取付口を開いたまま、ダストノズルにかがせてください。
 - 取り外しのときはダストバッグ内の切りクズをこぼさないように注意してください。

●作業後はダストバッグのファスナーを開き、中の切りクズを捨ててください。

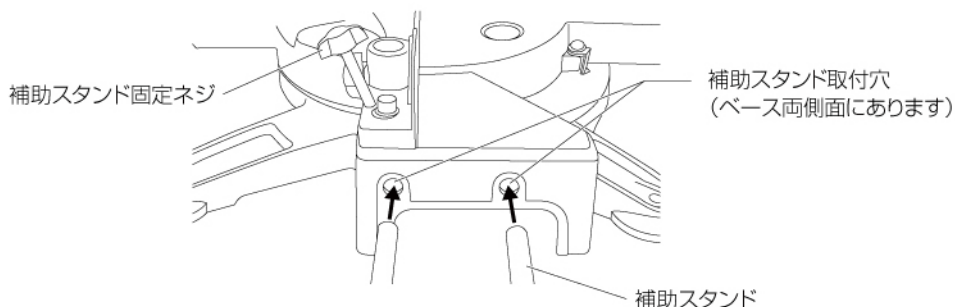


- ダストバッグはこまめに清掃してください。
- ダストバッグは吹き上がる切りクズの一部を集める物です。



補助スタンドの取り付け

- 補助スタンドは長尺材を切断するときに、加工物を安定させるために使用してください。
- ベース左右両側面の補助スタンド取付穴に奥まできちんと差し込み、補助スタンド固定ネジで固定してください。



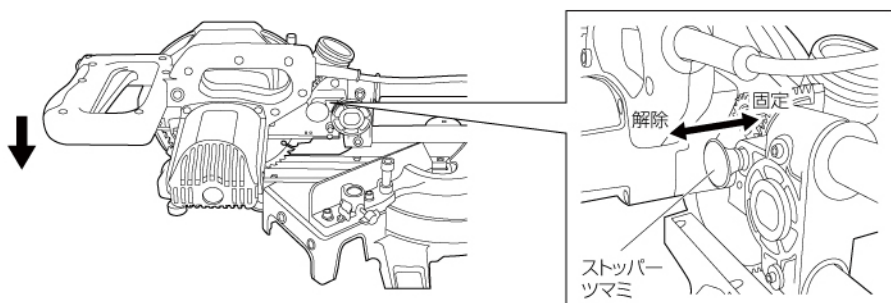
各部の調整

ストッパーの解除・固定

本製品は梱包時、ストッパーで本体を下限位置に固定してあります。下図のようにハンドルを軽く下に押しながら、ストッパーツマミを引いてください。

ストッパーを固定するときはハンドルを下限位置まで下げながらストッパーツマミを押してください。

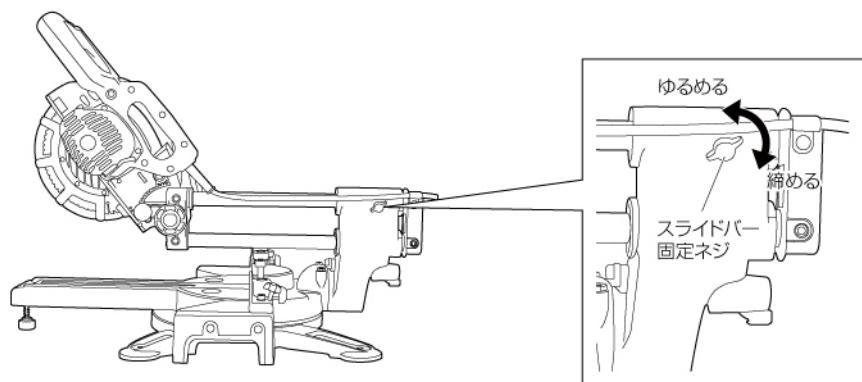
※ストッパーツマミが固いときは、ハンドルを強めに押し下げてください。



スライドバーの固定・解除

スライドバー固定ネジをゆるめるとスライドバーが動きます。

※本体を持ち運ぶときはスライドバーが動かないようにスライドバー固定ネジを締めてください。



使い方(続き)

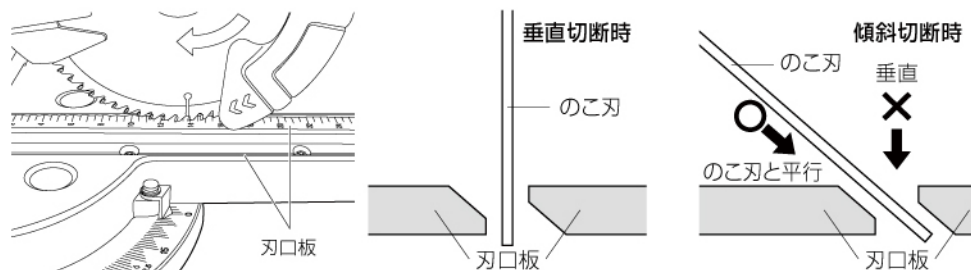
各部の調整

刃口板について

- 刃口板は切断中にのこ刃が接触してものこ刃をいためないプラスチック製です。
- 傾斜切断時にはのこ刃と平行になるようにハンドルを押さえ切断してください。

⚠ 注意

- 傾斜切断時、のこ刃に対して垂直方向にハンドルを押さえると、のこ刃が刃口板に強く接触する場合があります。思わぬケガの原因となりますので注意してください。



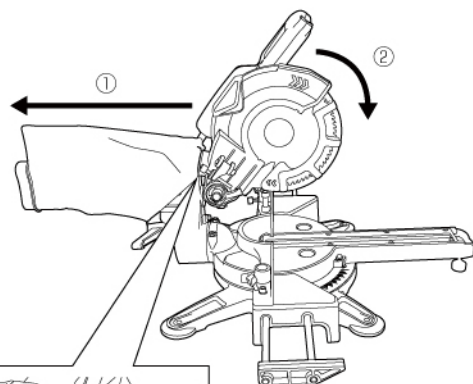
切り込み深さの調整

⚠ 警告

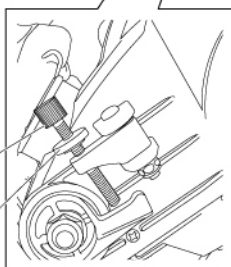
- のこ刃を交換した直後は、のこ刃がターンテーブル底面に当たらないか、切り込み深さを確認してください。

1. スライドバー固定ネジをゆるめ、本体を奥側いっぱいまでスライドさせ(①)、ハンドルを下限位置まで下げてください。(②)

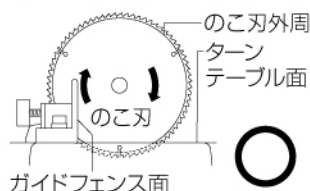
2. 切り込み深さ調整ネジと固定ナットをまわしてのこ刃の外周がガイドフェンス面とターンテーブル面が交差する位置よりも下がった位置になるように調整してください。位置が決まったら固定ナットを締めて固定してください。また、のこ刃がターンテーブル底面に接触していないことを確認してください。



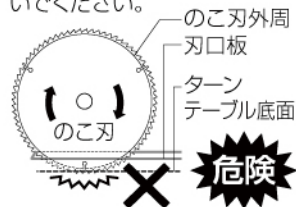
切り込み深さ調整ネジ
固定ナット



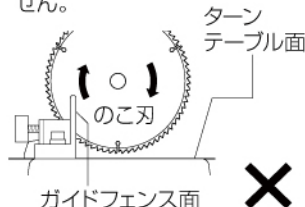
のこ刃がガイドフェンス面とターンテーブル面より下がった位置で使用してください。



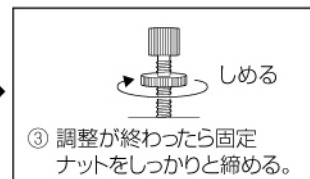
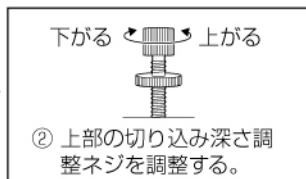
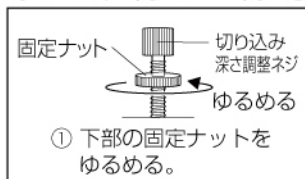
のこ刃がターンテーブル底面や刃口板に接触する状態で使用しないでください。



のこ刃が上がりすぎていると、本来の切断能力を発揮できません。



切り込み深さ調整ネジの調整方法



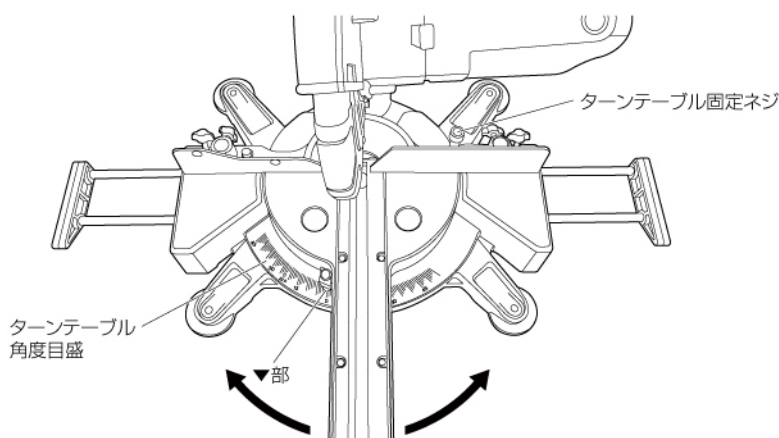
使い方(続き)

角度切断の角度設定方法



- ターンテーブル角度目盛は目安として使用してください。角度切断のときは不要の材料で試し切りをして、角度を確認のうえ切断してください。
- 切断角度の設定はハンドルを上げた状態で行ってください。
- 本製品のターンテーブルは、0° から左右45° まで調整できます。
- ターンテーブルを右側に回して切断した時に、安全カバー底部が材料に接触する場合があります。不要な材料で試し切りをして確認してください。

1. 付属の六角棒レンチでターンテーブル固定ネジをゆるめてください。
2. ターンテーブルに付いている▼部をターンテーブル角度目盛に合わせ切断角度を設定してください。
3. 切断角度が決まったら、ターンテーブル固定ネジを付属の六角棒レンチでしっかり締めてください。
※ターンテーブル固定ネジを締めすぎないでください。破損する恐れがあります。



傾斜切断の角度設定方法



- 傾斜角度を変更した後は、必ず傾斜角度調整レバーがしっかりと締まっているか確認してください。また、スイッチを入れる前にも必ず傾斜角度調整レバーがしっかりと締まっているか確認してください。



- 傾斜角度目盛は目安として使用してください。傾斜切断のときは不要の材料で試し切りをして、角度を確認のうえ切断してください。
- 切断角度の設定はハンドルを上げた状態で行ってください。
- 本製品ののこ刃は左45°位置まで傾斜できます。

1. 傾斜角度調整レバーをゆるめてください。

ゆるめる

2. ハンドルを持ち機体をしっかりと保持しながら、左に傾けてください。

締める

3. アーム付け根の▼部を傾斜角度目盛に合わせ、切断角度を設定し、傾斜角度調整レバーをしっかりと締めてください。アームにぐらつきがないか、必ず確認してください。

傾斜角度
調整レバー

傾斜角度目盛

4. 傾斜角度調整レバーは、手前方向にスライドさせることで好みの位置へ回転することができます。使用中は傾斜角度調整レバーが斜め下にくるように固定してください。

① 手前に
スライドさせる

傾斜角度調整レバー

アーム

② 斜め下に
回転させる

たてバイスについて

⚠ 警告

- 加工物は付属のたてバイスを使用して確実に固定してください。加工物の固定が不十分だと切断中に加工物が飛散するなどしてケガの原因となります。
- たてバイスで固定できない小さな物の切断は危険ですのでおやめください。

⚠ 注意

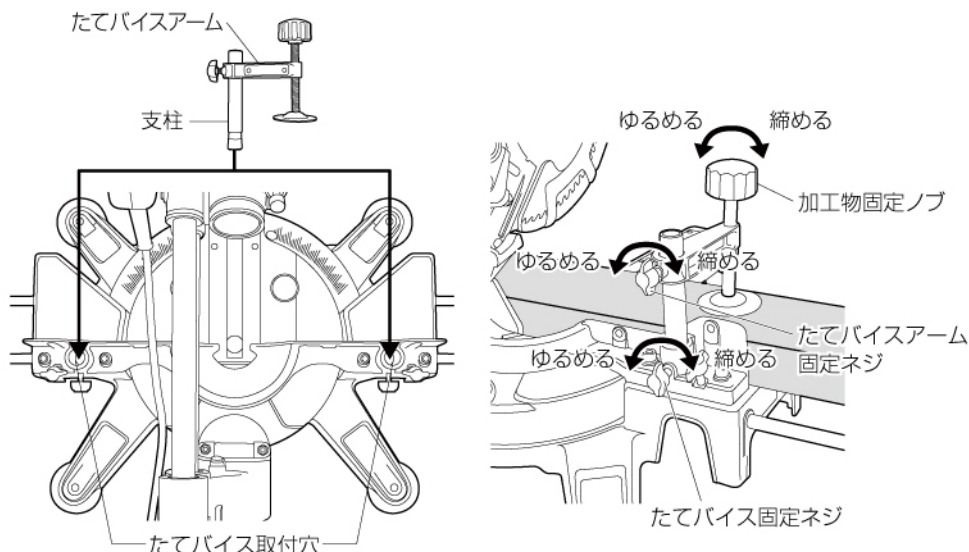
- ハンドルを下限位置まで下げたとき、および奥側へいっぱいのスライドさせたときに、たてバイスが機体のどこにも接触していないことを確認してください。接触する場合はたてバイスの位置を変更してください。

◆ 注

- たてバイスで固定できる材料の最大高さは50mmです。それ以下で使用してください。

使い方(続き)

1. たてバイスの支柱を左右2ヶ所にある、たてバイス取付穴のどちらか一方に差し込み、たてバイス固定ネジをしっかりと締めてください。
2. 加工物をガイドフェンスとターンテーブルに密着させ、切断位置を合わせてください。
3. 加工物の厚さに合わせて、たてバイスアームの高さを決め、たてバイスアーム固定ネジをしっかりと締めてください。
4. 加工物固定ノブを締めて確実に加工物を固定してください。

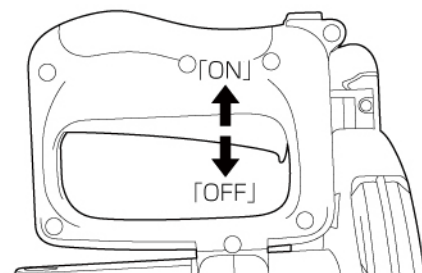


スイッチの操作



- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチを入れたまま電源プラグをコンセントに差し込むと、急にこの刃が回転して、ケガ・事故の原因となります。
- スイッチをテープなどで固定し連続運転をしないでください。緊急時にスイッチを切ることができず危険です。また、無理な連続運転はモーターが過熱する原因となります。

1. スイッチ引金を引くと「ON」。
この刃が回転します。
2. スイッチ引金を離すと「OFF」。
この刃の回転が徐々に止まります。



のこ刃の取り付け・取り外し

⚠ 警告

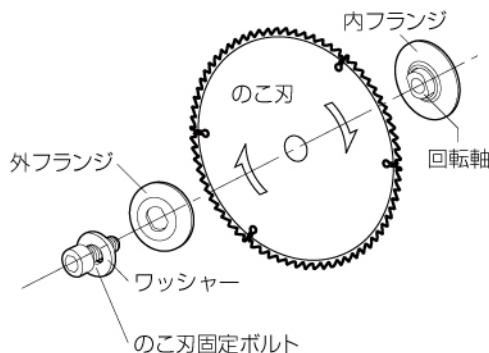
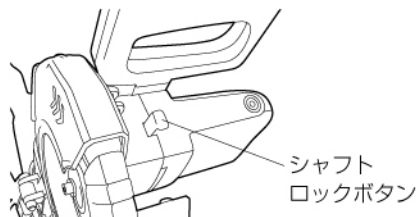
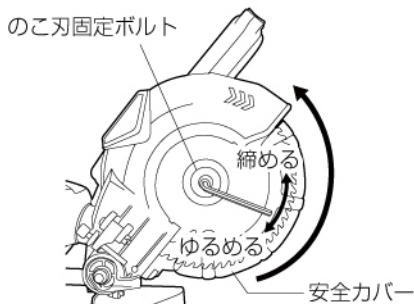
- のこ刃の取り付け・取り外しのときは、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。不意にモーターが始動するとケガ・事故の原因となります。
- のこ刃は刃物です。取り扱いのときは必ず保護手袋を着用し、安全に作業を行ってください。
- のこ刃を取り付けるときは、ブレードケースについている回転方向矢印とのこ刃に表示されている回転方向矢印の向きを合わせてください。回転方向が合っていないと、のこ刃の刃先をいためるばかりでなく、ケガの原因となります。

⚠ 注意

- 切れ味が悪いのこ刃を使用すると、本来の切断能力を発揮しないだけでなく、モーターに負担がかかり、故障の原因となります。

取り外し方

1. シャフトロックボタンを押し込みながら、付属の六角棒レンチでのこ刃固定ボルトをゆっくり回して回転軸を固定してください。
2. 回転軸が固定された状態で、六角棒レンチを時計回りにまわし、のこ刃固定ボルト・ワッシャー・外フランジの順に取り外してください。
3. 安全カバーを一番上まで持ち上げて、のこ刃を取り外してください。



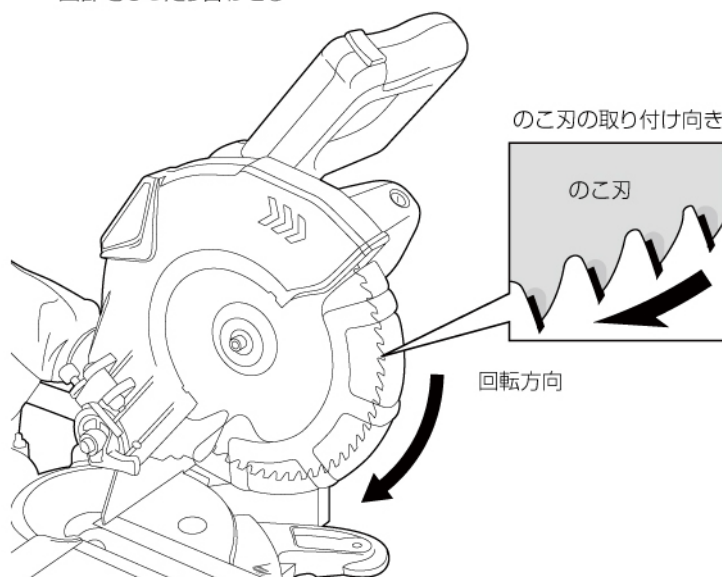
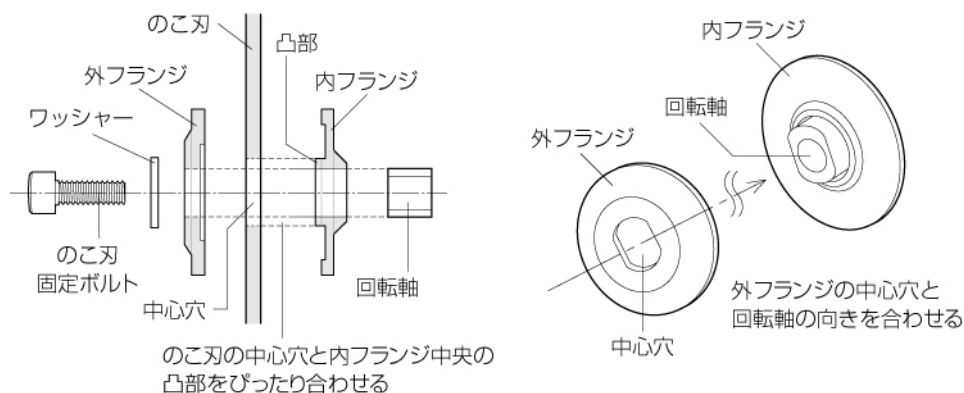
使い方(続き)

取り付け方

⚠ 警告

- 外径185～190mm、内径20mmののこ刃を使用してください。
- のこ刃の取り付けは正しく確実に行ってください。不完全な取り付けや誤った使用はケガ・故障の原因となります。

- 取り外しの逆の要領で行ってください。
- 内・外フランジの向きをよく確認してください。のこ刃の中心穴を内フランジ中央の凸部にきちんとはめ込み、ガタつきがないことを確認してください。
- のこ刃の回転方向をよく確かめ、付属の六角棒レンチでのこ刃固定ボルトをゆるみのないようしっかりと締め付けてください。
- 締め付けが終わったら、六角棒レンチを取り外してください。



切断方法

⚠ 警告

- 作業中は必ず保護マスク・保護メガネを着用してください。
- 作業中のこ刃や機体に異常が発生した場合は、ただちに使用を中止してください。
- ターンテーブル固定ネジや傾斜角度調整レバーはしっかりと締め付けてください。切断中に各部が動くと強い反発力を生じケガの原因となります。
- 切断途中でのこ刃を回転させたままハンドルを戻そうとすると、強い反発力を生じケガの原因となります。のこ刃の回転が完全に止まってからハンドルを戻してください。
- 加工物の切り落とし側が小さい場合、のこ刃の回転に巻き込まれ飛散することがあります。(ケガ・破損の原因)

⚠ 注意

- 建築作業など精度が必要な切断には使用しないでください。
- 切断能力を超える厚さ・幅の加工物を切断しないでください。本体破損・故障の原因となります。
- 連続切断をするとモーターが過負荷状態になります。モーターが熱くなっている場合は停止させて十分に冷ましてから作業を行ってください。
- ハンドルを急激に押し下げて、のこ刃を加工物に強く当てないでください。
- 切断するときは、無理にハンドルを押さえつけたり、左右に強い力を加えないでください。モーターに負荷がかかり切断能力が低下します。
- のこ刃が加工物にはさまれて回転が停止したときは、ただちにスイッチを切り、ハンドルを上げてのこ刃を加工物から抜いてください。
- 傾斜切断・複合切断時には、安全カバーが加工物に接触し切断しにくい場合や、安全カバーがのこ刃に接触する場合があります。

押し切り切断

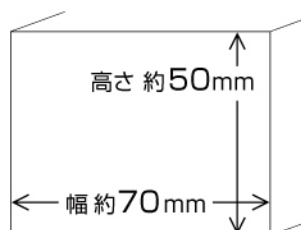
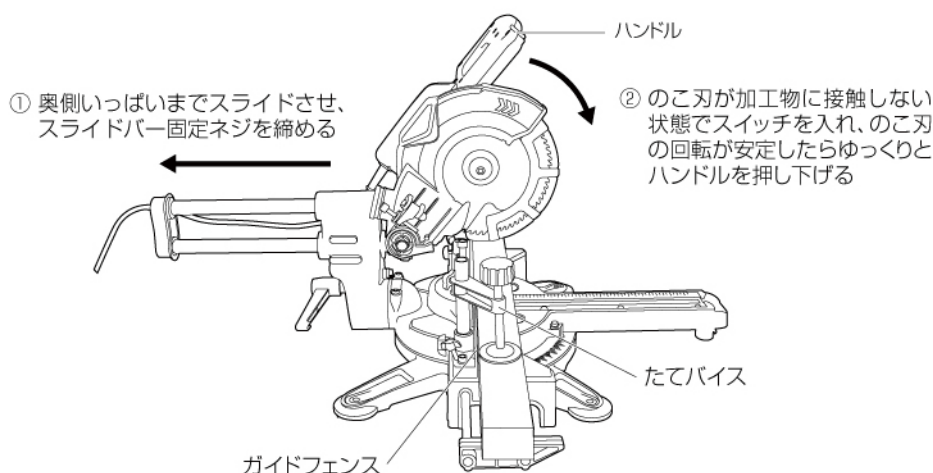
- 小物材の切断に適しています。高さ約50mm×幅約70mmまでの加工物が切断できます。

⚠ 注意

- スライドバー固定ネジをしっかりと締めてください。機体の固定が不十分な場合は、切断中に強い反発力を生じ、ケガの原因となります。

使い方(続き)

1. 機体を奥側いっぱいまでスライドさせ、スライドバー固定ネジをしっかりと締めてください。
2. P.15「角度切断の角度設定方法」を参照して切断角度を設定した後、加工物をガイドフェンスとターンテーブルに密着させて、たてバイスで確実に固定してください。
3. ハンドルを持ち、のこ刃が加工物に触れていない状態でスイッチを入れてください。
4. のこ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルをかるく押さえ、ゆっくりと下限位置まで押し下げ切断してください。
5. 加工物を切断し終わったら、その位置でスイッチを切り、のこ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げてください。



押し切り切断時の最大切断寸法

スライド切断

- 幅広材の切断に適しています。高さ約50mm×幅約305mmまでの加工物が切断できます。

⚠ 警告

- のこ刃が回転中はスライドバー固定ネジは操作しないでください。
- スライド切断のときは、機体を手前側いっぱいまで引いた状態で切断を開始してください。手前側いっぱいまで引かずには押し切りしたり、手前に引きながらスライド切断すると、反発力を生じケガの原因となります。

⚠ 注意

- スライド切断中は、スライドを途中で止めないでください。途中で止めると切断面にのこ刃のキズが深く付いたり、切断精度が悪くなります。
- ストッパーでハンドルを下げた位置に固定してスライド切断はしないでください。

1. スライドバー固定ネジをゆるめて、機体のスライド固定を解除してください。

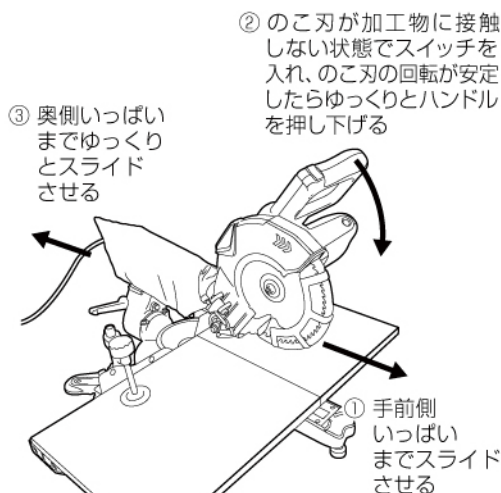
2. P.15「角度切断の角度設定方法」を参照して切断角度を設定した後、加工物をガイドフェンスとターンテーブルに密着させて、たてバイスで確実に固定してください。

3. ハンドルを持ち、機体を手前側いっぱいまで引いてください。のこ刃が加工物に触れていない状態でスイッチを入れてください。

4. のこ刃の回転が上昇し、安定してからハンドルをかるく押さえ、ゆっくりと下限位置まで押し下げてください。

5. その状態を保ちながら機体を奥側へ、ゆっくりとスライド切断してください。

6. 加工物を切断し終わったら、その位置でスイッチを切り、のこ刃の回転が完全に止まってからハンドルを上げてください。



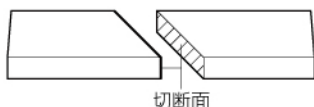
スライド切断時の最大切断寸法

使い方(続き)

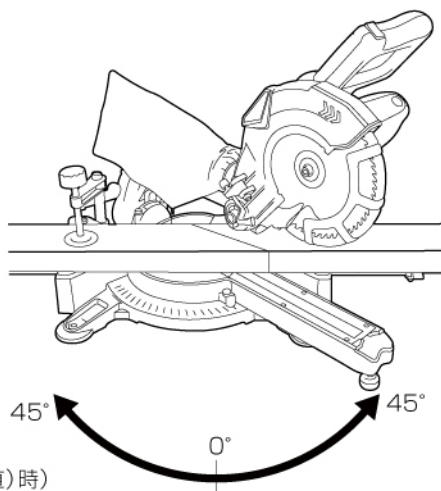
角度切断

- ターンテーブルを回転させ、角度目盛を合わせて押し切り・スライド切断ができます。
- P.15「角度切断の角度設定方法」を参照してください。

切断例



- 角度切断時の最大切断寸法：
厚さ 約50mm×幅 約210mm
(ターンテーブル左右45°・のこ刃傾斜0°(垂直)時)



傾斜切断

⚠ 警告

- 傾斜切断のとき、加工物を切断し終わったら、必ずのこ刃が完全に停止してからハンドルを上げてください。切り落とし側の加工物がのこ刃に巻き込まれて飛散し、ケガの原因となります。

⚠ 注意

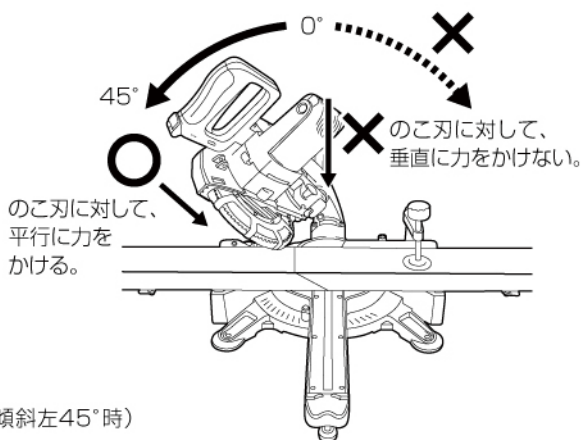
- 傾斜切断のときは、のこ刃と平行な方向に力が加わるようにハンドルを操作してください。ターンテーブルと垂直な方向に力を加えたり、切断途中で力の加わる方向が変わると切断精度が悪くなります。

- のこ刃を左に傾斜させ、角度目盛を合わせて押し切り・スライド切断ができます。
- P.15「傾斜切断の角度設定方法」を参照してください。

切断例



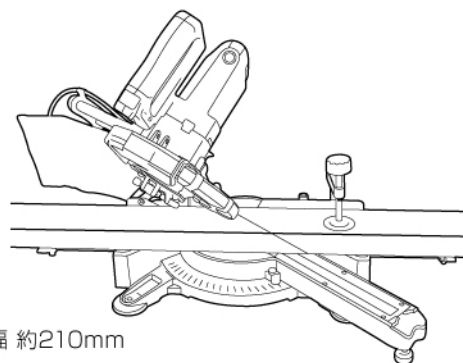
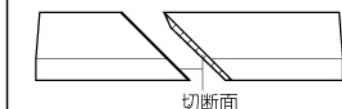
- 傾斜切断時の最大切断寸法：
厚さ 約30mm×幅 約305mm
(ターンテーブル角度0°(垂直)・のこ刃傾斜左45°時)



複合切断 角度切断+傾斜切断

- ターンテーブルを回転させての角度切断と、のこ刃を傾斜させての傾斜切断の組合せによる切断です。
- P.15「角度切断の角度設定方法」および「傾斜切断の角度設定方法」を参照してください。

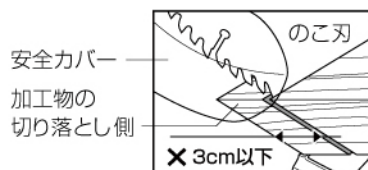
切断例



- 複合切断時の最大切断寸法：厚さ 約30mm×幅 約210mm
(ターンテーブル左右45°・のこ刃傾斜左45°時)

⚠ 注意

- 複合切断時、加工物を3cm以下に切り落とすと安全カバーに加工物が引っかかり、スライド切断ができません。3cm以下の切り落としはしないでください。

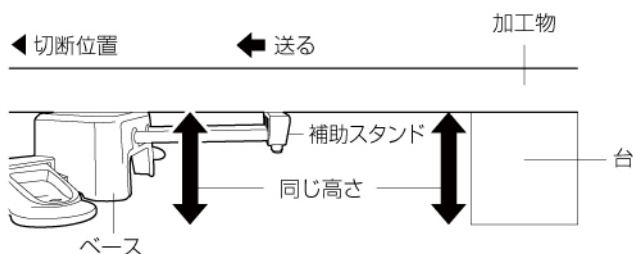


長尺材の切断

⚠ 注意

- のこ刃が加工物にはさまれると正常に回転せず、モーター焼けおよび反発によるケガの原因となります。

- 長尺材を切断するときは、切り落とし寸前や切断中、加工物の重みでのこ刃がはさまれないよう補助スタンドを使用してください。補助スタンドの取付方法はP.11「補助スタンドの取り付け」を参照してください。
- 加工物が補助スタンドの長さを超える場合は、加工物の切り落とし側に補助スタンドと同じ高さの台を設けてください。

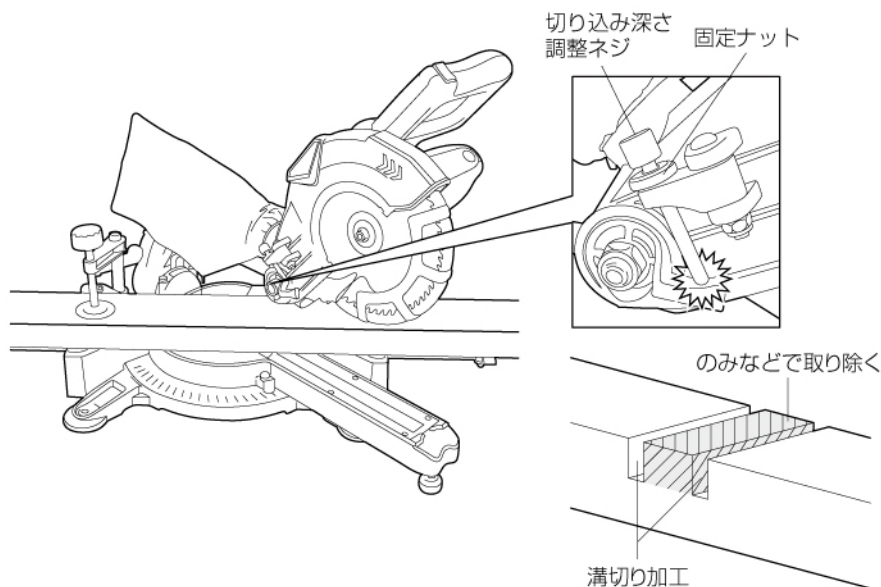


使い方(続き)

溝切り

● のこ刃の切り込み深さを切り込み深さ調整ネジで調整することにより、溝加工ができます。

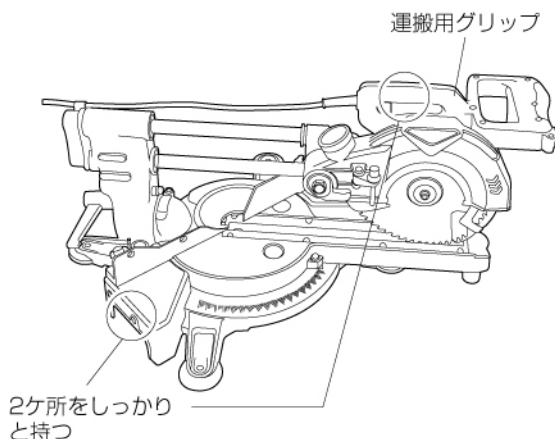
1. P.14「切り込み深さ調整ネジの調整方法」を参照して、切り込み深さ調整ネジの高さ調整と同じ要領で好みの溝切り深さに調整してください。
2. スライド切断で溝を加工し、斜線部はのみなどで取り除いてください。



持ち運び

1. 電源プラグをコンセントから抜き、ハンドルを最も下まで下げた状態でストッパーで固定してください。
2. ターンテーブルを右45°、のこ刃傾斜角度を0°(垂直)、機体を手前側いっぱいまでスライドさせた状態で、それぞれしっかりと固定してください。
3. 機体上部の運搬用グリップおよびベースをしっかりと持ち、運んでください。

※手をはさむ恐れがありますので、スライドバーを握っての持ち運びはしないでください。



⚠ 警告

- 点検・お手入れのときは、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

各部の点検・調整

⚠ 警告

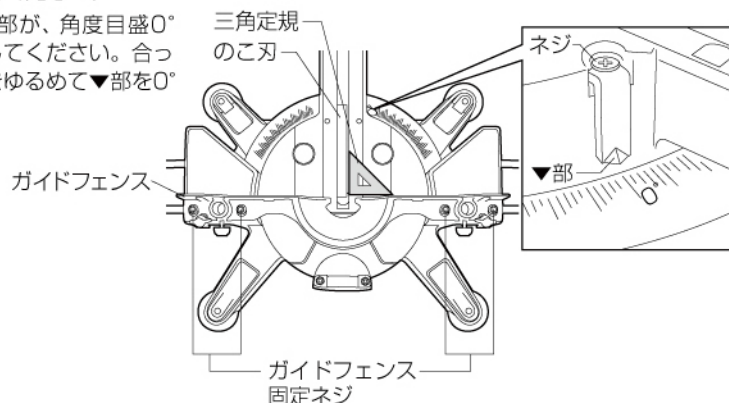
- 作業前・作業後に各部のネジがゆるんでいないか確認してください。ゆるんでいる場合は必ず使用前に締めなおしてください。ゆるんだまま使用すると大変危険です。(ケガ・事故・破損の原因)

⚠ 注意

- 切断角度は工場出荷時に調整してありますが、万一使用中にくるいが生じた場合は下記の手順で調整してください。

角度切断の角度調整方法

1. 機体を奥側いっぱいまでスライドさせ、スライドバーを固定してください。また、ハンドルを下限位置まで下げストッパーで固定してください。
2. ターンテーブル固定ネジをゆるめ、▼部をターンテーブル角度目盛0°に合わせてください。ターンテーブルが0°位置で止まった状態で▼部がターンテーブル角度目盛0°に合っていない場合がありますが、そのままにしておいてください。
3. ガイドフェンス固定ネジ4本を付属の六角棒レンチでゆるめてください。
4. のこ刃とガイドフェンスに三角定規などをあて、のこ刃とガイドフェンスが直角になるようガイドフェンスの位置を合わせてください。
5. 4.であわせた位置からガイドフェンスが動かないように注意しながらガイドフェンス固定ネジをしっかりと締め付けてください。
6. ターンテーブルの▼部が、角度目盛0°に合っているか確認してください。合っていない場合はネジをゆるめて▼部を0°に合わせてください。



お手入れ(続き)



- 角度調整にはスパナ・レンチが必要です。セットには含まれておりませんのでお手持ちの物を用意してください。

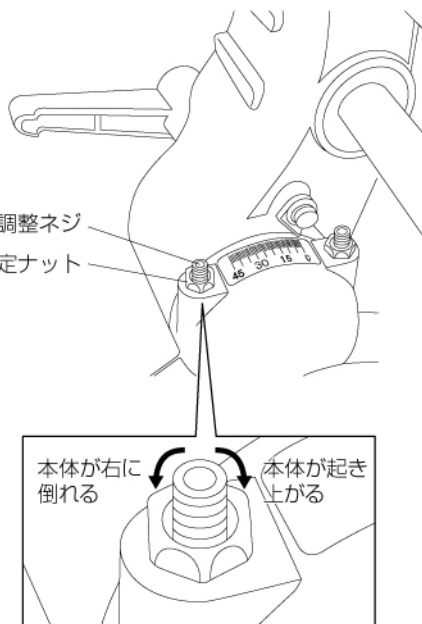
傾斜切断の角度調整方法 (垂直位置)

アーム付け根の傾斜角度目盛の左側にある垂直角度調整ネジの固定ナットをゆるめてから、付属の六角棒レンチで垂直位置角度ネジを動かすと微調整が可能になります。三角定規などを当てて位置を決めてください。

位置が決まったら固定ナットを締めて固定してください。

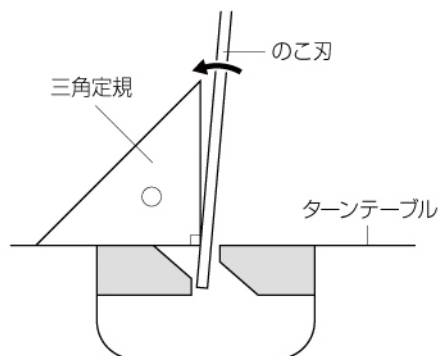
垂直角度調整ネジ

固定ナット



本体が右に
倒れる

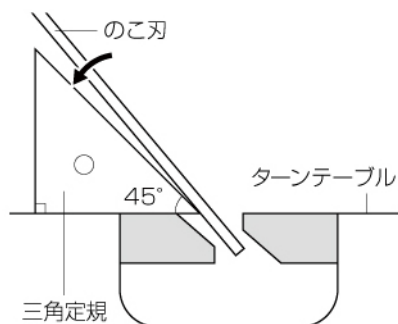
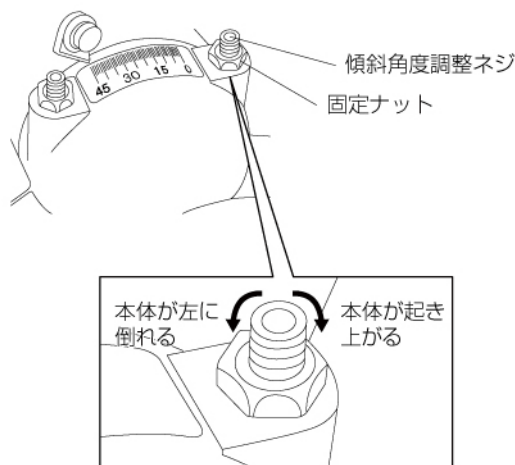
本体が起き
上がる



垂直角度調整ネジを回し、のこ刃とターンテーブルが垂直になるよう調整

傾斜切断の角度調整方法(左45°位置)

- 1.P.15・P16「傾斜切断の角度設定方法」を参照して機体を左45°に傾斜させてください。
- 2.アーム付け根の傾斜角度目盛の右側にある傾斜角度調整ネジの固定ナットをゆるめてから、付属の六角棒レンチで傾斜位置調整ネジを動かすと微調整が可能になります。三角定規などを当てて位置を決めてください。
位置が決まったら固定ナットを締めて固定してください。



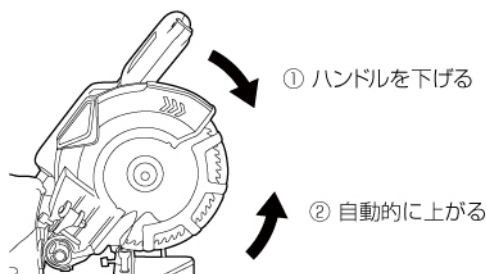
傾斜角度調整ネジを回して、のこ刃の傾斜角度が45°になるよう調整

安全カバーの動作点検

警告

- 安全カバーの動作点検のときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 安全カバーを任意の位置で固定して使用したり、取り外しでの使用は絶対にしないでください。
また、のこ刃が回転中に手で安全カバーを開いたりしないでください。
- 安全カバーの動作に異常があるときは、そのまま使用せず必ず修理に出してください。

- 安全カバーはハンドルを下げると自動的に上がり、切断し終わってハンドルを上げると元に戻ります。
- 安全カバーに切りクズなどが付着して、のこ刃が見えにくくなったときは、乾いた布などで拭き取ってください。



お手入れ(続き)

カーボンブラシについて

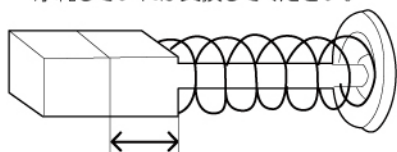
- スイッチを入れても作動・回転しない場合はカーボンブラシが摩耗限度を超えている場合があります。
- カーボンブラシは定期的に取り外して点検してください。



- カーボンブラシは2個で1組となっています。交換するときは必ず2個同時に行ってください。
- 交換用カーボンブラシのお買い求めは購入店にてお問い合わせください。

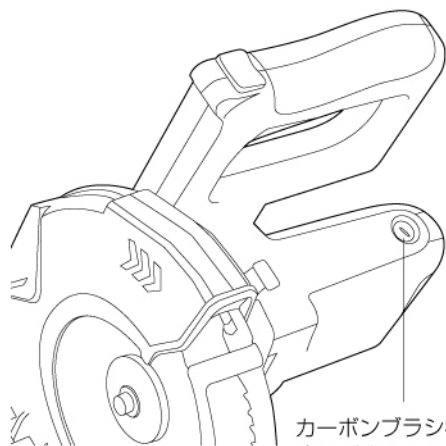
交換方法

1. カーボンブラシキャップをお手持ちの
⊖ドライバーなどで取り外し、中のカーボン
ブラシを取り出してください。
2. カーボンブラシの長さが6mm以下に
摩耗していれば交換してください。



6mm以下になったら交換

3. カーボンブラシをチェックした後は、
元のようにセットし、カーボンブラシ
キャップをしっかりと取り付けください。



カーボンブラシキャップ
(反対側にもあります。)

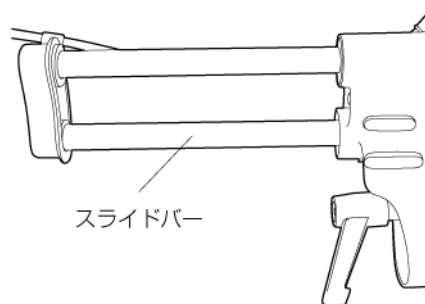
お手入れと保管

⚠ 警告

- 作業が終わったら、すみやかにスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した・お子様の手の届かない・カギのかかる所にきちんと保管してください。

ⓘ

- 定期的に清掃し、各部にたまった切りクズ・ゴミなどを取り除き乾いた布で拭いてください。
- 使用後は、のこ刃の汚れやほこりをきれいに取り除き、サビ止め油を塗ってください。
- スライドバーはサビが発生する場合がありますので、切りクズなどを取り除いた後サビ止め油を塗ってください。
- 故障のときは、必ず修理に出してください。



MEMO

MEMO

MEMO

お買い上げの後に

交換用のこ刃について

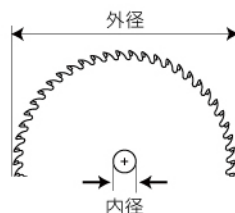
⚠ 警 告

- 本製品は木工専用です。金属・コンクリート・プラスチックなどの切断や、庭木の枝など生木の切断、切断砥石を取り付けての使用はしないでください。(ケガ・破損・故障の原因)

⚠ 注 意

- 加工物・切断条件に適した鋸刃を使用してください。

- 使用できる鋸刃は、外径185～190mmで、内径20mmの木工用です。



お買い上げの後に(続き)

保証書

販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM スライド丸鋸 190mm			お買い上げ日	年 月 日
型式	SM-190A	JAN コード	4907052 379916	保証期間	お買い上げ日より 6ヶ月
販売店	販売証明書や レシートなどを 添付してください。				

1. 本書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などは適用外となります。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 家庭用以外(例:業務用の長時間使用、車載・船舶への搭載など)に使用された場合の故障および損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

保証規定

発売元



株式会社 高儀

製品性能・品質・取り扱いに
関するお問い合わせは…

株式会社 高儀
お客様相談窓口

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00~PM5:00 (土日祭日および弊社の休日を除く)

修理(見積り含む)および別売品などの購入は、お買い上げの販売店にご依頼ください。上記相談窓口では直接対応はできません。あらかじめご了承ください。

■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を収集させていただき、その記録を残すことがあります。個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。